

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
1	老人医療介護福祉関係施設	<p>【現在の状況について】</p> <p>施設リスク管理体制について、ワクチン接種により、家族側と施設側の感染予防に対する温度差がある。感染予防をどう進めていくのか模索しています。</p>			
2	訪問看護介護団体	<p>【感染予防対策について】</p> <p>これまで、町から感染予防に対する設備を整えていただいた。感謝しています。施設の利用者、職員に安心感が出た。地域の中に、外部から人が来る、行く人の不安感が多くなってくるんだろうと思う。安心できる体制、地域全体で安心が増えていければと思う。</p> <p>北海道で感染者数が減少している中、地域の方々含めて集って行事をするまでは動けていない。ワクチンの効果、施策が地域の皆さん安心につながり、予防対策をして1日でも早く皆さんで集まりたいと望む声大きい。</p>			

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
3	訪問看護介護団体	<p>【現在の状況について】 在宅の方の支援をしている。今、利用者ご家族ともに遠方の方も増えてきている。ワクチン接種している、PCR検査を受けたという人がいるが、いらしたとき本当に大丈夫なのか不安。2,3日滞在後、各事業所でサービスが利用できなくなる場合がある。その間の利用者をどうやって支えていくか。在宅ができない人は施設の入所と同じように面会ができない状況もある。不安に思われるご家族がいらっしゃる。本部でクラスター騒ぎがあり、食事をするときも同じ部屋でしていない。自分たちの体を守りながら、利用者にも感染させないようにしている。一般の方と施設側の温度差が益々広がっている。</p>			
4	老人医療介護福祉関係施設	<p>【現在の状況について】 当初は緊張感をもって、介護に従事していた。ワクチン接種が完了したことに伴い安心感が生まれた。引き続き感染予防対策を徹底している。利用者も地域とのつながりが無くなっていて、外に出て良い空気を吸えない状況であり、サービスが低下している。面会について、遠方から来た方は1週間休ませてる。家族には手紙で理解を求めている。今後も新スタイルを継続していく。</p>			
5	老人医療介護福祉関係施設	<p>【現在の状況について】 事業の一つで、がっつり運動教室という介護予防教室にリハビリ専門職を毎週金曜日に派遣し、感染予防対策を徹底しながら実施。利用者の健康維持に役立っている、腕が少しずつ上がるようになったとの声が聞かれている。</p>			

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
6	老人医療介護福祉関係施設	【PCR検査について】 現在実施しているPCR検査支援の期間延長の検討をお願いしたい。また、新規採用職員に対してのPCR検査について、該当になる場合の線引きが難しい。新規採用者は道内、道外も想定されるので、安心を得るためにも検討をお願いする。利用者も職員も安心できていると思っている。	新規採用者PCR検査を事業の中で拡大できるのか検討していきます。	PCR検査助成事業について、既存事業の要綱を令和3年11月1日付で改正し、新規採用職員のPCR検査も助成対象としました。	高齢あんしん課
7	老人医療介護福祉関係施設	【現在の状況について】 今後第6波は考えられるので、外部との人との接触は慎重に考えています。施設内の感染対策は今までと同じように続けていきたい。通所の方と入所の方と接触を避けていきたいと考えています。日々午後3時に北海道発表の檜山管内の感染者数を心配している。			
8	老人医療介護福祉関係施設	【現在の状況について】 入居前PCR検査、蔓延防止措置職員のPCR検査の支援について感謝している。緊急事態宣言が解除されたが、職員行動制限は継続している。面会においてはリモート面会を実施。環境が無い方は窓口面会を行った。冬に差し掛かり窓口面会できるか悩んでいる。クラスターにならない工夫をどうするか。感染対策委員会を月2回行い、シミュレーションしている。			

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
9	老人医療介護福祉関係施設	【PCR検査について】 PCR検査支援を続けていただきたいのと、道外、札幌からの就職する人もいますので、新規採用者についても考慮していただきたい。	No.6回答内容と同じ	No.6対応状況と同じ	高齢あんしん課
10	老人医療介護福祉関係施設	【現在の状況について】 感染対策は今まで通りしている。緊急事態宣言中は面会ありませんでした。リモートは職員負担になるため行っていない。今現在は1件面会を行った。入所者の体操は良いことと思っている。利用者は散歩好きで道路沿いを歩いているが、コロナにより控えている。道路が意外と交通量が多く、歩くときは注意している。何らかの徐行運転をしてもらえない方法はないものか。看板なり見通しの良い道路整備していただきたい。 江差町は観光の町でもあるがイベントが中止され、どういう形でイベントを復活させていくのか悩んでいると思う。何かいい方法が無いか考えてほしい。災害があった場合の避難施設のコロナ対策。ワクチン接種した、していない方など難しいと思うが検討するべきと思う。	交通安全と避難所のご意見。道路の関係で安心して散歩ができる体制。意見を踏まえて田沢、尾山地域どういう対応ができるのか意見交換させていただきたい。 避難所運営、災害対応について、災害担当職員と議論を深めていきたい。	道路への看板設置について検討したい。 避難施設のコロナ対策については感染症対策も含めた避難所運営マニュアルを作成している。また、感染症対策備蓄品も整備しているので、令和4年1月に避難所運営訓練を実施する予定。	総務課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
11	訪問看護介護団体	<p>【現在の状況について】 コロナ対応で、発熱になった際は直接連絡いただき、支障のないように説明等々をしながら対応している。症状が確認された際はすぐ対応できるように予防着を常備し、物を整えている。今後も感染予防をしていこうと確認している。訪問しているので利用者さんの家族の方が見えて、発熱ないか確認して、いらっしゃるようであれば別対応など工夫をしながら訪問している。 職員間でクラスターが発生した場合を踏まえて、利用者の対応手順を作成して応援が来たときにわかりやすいように対応していただくよう整えている。</p>			
12	老人医療介護福祉関係施設	<p>【家族と施設側の温度差について】 我慢していた期間が長かった分、反動が大きいかなと思う。施設として感染経路につながるものを除去していかなければならない。理解はしているけど、思いを汲んでほしいとの家族の思いもある。どこまで自分たちが感染リスク管理の高さをもったらいいのか議論している。PCR検査をしたからといって安心なのかというところもある。コロナの情報を正しく知っていく必要がある。</p>	<p>長引けば長引くほど、先の見えない我慢が非常に辛い。どうしたら利用できるのかあいまいになってきている。わかりやすくしていかなければならない。</p>	<p>厚生労働省からの感染予防対策の最新情報を共有しながら、細かいケースは都度相談しながら対応していく。</p>	<p>高齢あんしん課</p>

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
13	訪問看護介護団体	<p>【地域の交流について】 難しい問題。体を動かすこと一つ、一人で暮らしている人は大変だと思う。これだけワクチン接種が進んでいること、感染者数が減ってきていることから、一定の中で一つの地域の交流の在り方を江差町独自で対策をすることを期待していた。今の状況は規制があって、それが解消されていければ、地域の交流はこの程度まではできるよと江差町でなっていない限りは、私たちが単独で行動を起こすのは無理がある。</p>	<p>町として、国や北海道の方針を踏まえながら、江差町でこれは守ってくださいとお伝えできるように方針を固めていきたいと思います。</p>	<p>町内会及び自治会、各町老人クラブに対し、活動基準（取組の例示）を11月初旬に周知済。</p>	<p>高齢あんしん課</p>
14	訪問看護介護団体	<p>【ヘルパーの負担について】 利用者が楽しみにしているのはヘルパー訪問だけではなく、老人クラブに行けない、知り合いの家にも行けないという話を聞く。今のヘルパーは身体だけではなく精神的な部分の支えにもなっている。冬場に向かって、精神的な落ち込みが大きいと思う。老人クラブの集まりの再開だとかそこで話や体を動かすだとかできればいいのかなと思う。コロナ前にあった集まりの機会があったりすると落ち込みが少なくなるのではないかなと思う。つながるといった支援をしてもらえれば一部ではあるけれど負担は減るのかなと思う。</p>	<p>感染者が0人だけどコロナ禍で心も体も不健康となっている社会がいいのか。インフルエンザが拡大するからといって行動制限はしてきていない。コロナの行動制限を起していることで、不健康な状態になっている。リスクを回避しながら、健康維持する活動を求められていると感じている。高齢者、介護が必要な方たちが、人と接することで健康維持につながっていくということを感じている。どういう形であれば大丈夫なのか、いろんな団体や組織の皆さんにまかせっきりでいいのか。どう解決していくのか、どうアナウンスをするのか考えていきたい。</p>	<p>No.13対応状況と同じ</p>	<p>高齢あんしん課</p>

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
15	老人医療介護福祉関係施設	<p>【施設の面会について】</p> <p>タブレットを利用できない方は電話しかない。檜山、渡島管内の方々は制限ないが、それ以外は面会はさせないと案内して理解を求めている。長期間にわたって面会できない状態はご家族もイライラしているのではないかと思います。我々が止めているということが申し訳ない。宣言解除後でも規制は継続しようとして感染拡大してくると困る。面会の大まかな基準はあるが、細かいケースの判断は施設ごととなっている。ある程度の基準を示してほしい。</p>	<p>先の見えない我慢を強いている。コロナと共存していかなければならないし、そのためには、いかに日常を取り戻す判断、そのタイミングを説明していかなければならない。それが国や北海道、町、行政の役割。住民の生活をいかに向上させるために、考えをまとめていく作業をしていきます。</p>	No.1 2 対応状況と同じ	高齢あんしん課
16	老人医療介護福祉関係施設	<p>【地域や施設、職員の取り組みについて】</p> <p>流行地域に行ったときの2週間待機がPCR検査により少なくなった。施設として職員に行動履歴をつけてもらうことによって感染対策の徹底ができているのかなと思う。</p> <p>病院では面会できていないが、施設では窓越しでもできているので、今後、直接面会をできるように、徐々に緩和することが必要と感じている。利用者・家族の思いを聴く場所の提供が必要であり、発言の内容に援助していきたい。</p>			
17	老人医療介護福祉関係施設	<p>【感染対策、情報発信について】</p> <p>感染をした場合のシミュレーションをしておくべきではない。まず職員に理解してもらうこと。</p> <p>面会が通常通りできない時にどう暮らしているか情報発信するのが一番大事。日常生活の通信簿を月1回発行し、足を運べない方にも伝えている。施設でできること、行政にお願いすることがあれば都度照会したい。</p>			

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年10月6日15：30～17：00

場所：江差町役場 保健センター

令和3年11月25日時点

分野：医療介護福祉事業所

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
18	訪問看護介護団体	【地域に対する要望】 感染予防をしながら、面会制限等々どこまで緩和していくのか、行政で考えていただけると説明しやすい。	その点については、強く感じている。どういう対応をするのか早急に考えをまとめていきたい。	No.1 2 対応状況と同じ	高齢あんしん課
19	訪問看護介護団体	【期待すること】 各地域間の往来が始まって、規制は訴えてるが守る人守らない人がいる。国が容認した状態だと思う。そういう決断をした以上、今まで以上に効果的なコロナ対策を打ち出していくべきではないのかと期待している。	市町村の立場で国や北海道の基準を覆すものはないと思っている。江差町としての対応を考えていきたい。		